

いくつになっても、表彰を受けると、嬉しいが、恥しくもある。下にのりつけした表彰状と現金15万円が、東京中野に住む、元大の同級生の御尽力で

受け取る
ことができた。
尚、同級生の
のTは、
産業デザイン
の理事も行
い、NHKの
社会部の
Sを大洗
に取材に
来させたの
も、彼の力
による。
小学生の
低学年の時
に、偕楽園
の写生大会
(?)で、市長
の表彰を
受けた事が
あったのを
思い出した。

表彰状

伊藤 猛 殿

あなたはヨット製作を通じ、子供たちにもものづくりの楽しさと海洋ごみ回収の必要性を唱え【海のプロジェクト】を主宰されました。

参加者に与えた影響は多大であり海洋環境に対する振興発展に顕著な貢献をされましたのでこれを賞します。

2020年11月3日

一般財団法人 産業デザイン
理事長 橋本 久義



2020年大洗町長杯ヨットレース第1戦 結果表

2020年12月6日(日)

スタート時間	11:00:00
--------	----------

距離	11.3 nm
----	---------

参加艇	7 艇
-----	-----

NO	艇名	艇種	スタート	フィニッシュ	着順	所要時間	所要秒数	TA	ハンディ	ハンディ後	修正時間	修正順位	ポイント
1	ミルキーウェイ	ヨヤマ30SR	11:00:00	14:22:17	3	3:22:17	12,137	766		12,137	3481	4	4
2	春風	SEA夢-31	11:00:00	13:57:58	1	2:57:58	10,678	737		10,678	2350	2	6
3	安壽V	ヤマハ28S	11:00:00	14:51:56	4	3:51:56	13,916	996	1	13,856	2601	3	5
4	弥勒II	ヨヤマ40	11:00:00	14:01:41	2	3:01:41	10,901	802	1	10,841	1778	1	7
5	みずかぜ	スワン36	11:00:00	14:57:01	5	3:57:01	14,221	742		14,221	5836	5	3
6	オブコ	ババリア30	11:00:00	0:00:00	DNF		DNF	1026		DNF	DNF	DNF	1
7	アヴァロンIII	N-260	11:00:00	0:00:00	DNF		DNF	1042	1	DNF	DNF	DNF	1

今から20数年前に、No.2. 子供達を海水浴に連れて行って、ライフジャケットを着用させて、游泳禁止の決りで遊ばせた。己もライフジャケットを着て、泳いでいたら、離岸流で決から流された。目の前で若い男が溺れていたのて、立ち泳ぎをして、ライフジャケットをぬいで、男の胸の下に入れやった。大きく2、3呼吸、息をして、男は正気にもどって、近づいて決に引きはかり泳ぎ、背の立つ所で立ち上り、波打ちきりまで歩かせた。グループの仲間が駆け寄って来たが、ライフジャケットを返してもらって、上さんと子供達が遊んでいる所にもどった。しばらく甲干しをして、再度ライフジャケットを着て、泳いだら、又同じ所に流された。又若い男が溺れているので、前回と同じ方法で、決まで連れて帰った。

2回目の救助も、仲間とグループで来ていた人の様
 で、仲間に囲まれて、本人は立っていられなくて、
 浜辺にしゃがみ込んで、肩で息をしていた。
 ライジャケを持って、上さんのいる所にもどり、たっ
 ぷり遊んだ子供達と、砂を落して帰ろうとし
 たら、ヘリコプターが飛んで来て、救命艇が、
 海岸と平行に走り始めた。　　どうやら人目
 で犠牲者が出たようです。　　家に帰って、母
 に2人救助した話をしたら、『若い、これから税
 金をおってくれる人を大事にすれば……』と言
 われた。　　名古屋の竹馬の友の宗教家になった
 Aはに電話で、2人救助した話をしたら、『伊藤、
 それが隠徳と云うんだ、直接自分の代では益を受
 ける事はないから、子供や孫の代で、その見返り
 (?)がある……』との事です。　　救助された
 2名の内、どちらか1人でも、警察に救助の
 話をすれば、表彰を受けたのかも知れないが、
 救助が目的で、ライジャケを着て泳いでいた
 訳ではない。　　サーフィンをやっていた若
 者に泳ぎながら、話してみたら、その場所
 では、サーファーも、溺れている人を良く助ける
 事の事でした。　　艇の安全備品である、ライフ
 ジャケットを、車に乗せっぱなしにしておけば、
 思わぬ所で、役に立つ事があるかも知れない。

コロナ禍で、あっと云う間に一年が過ぎようとしているが、12/6(日)に7隻のヨットが犬洗マリーナの沖で、ヨットレースを楽しめた。

波高1m、4~5m/secの北の風で、N-260の(A)は、隣町の那珂川沿いのマリーナから参加してくれた。〈弥勒II〉は、小生の高校の同級生のY氏が同乗し、70歳以上が2人いるので、1分間のハンディをもらった。朝の船長会ぎで、2位になった船が一番良い商品もらえる事になって、修正2位の〈春風〉が見事な結果となった。7位も最良の御正月用品の鮭が特別賞として与えられたが、5位の〈みずがせ〉が受賞した。

4~5m/secの風でも足腰の弱さを感じて、安全オーで行動しているが、1名コックピットの中で転倒した人がいて、要注意です。何事も無くて良かったが、6月末に、船の作業で足をねんざして完治したそうだが、筋肉の減りが恐ろしく早い様だ。月一回のレースを、何歳まで楽しめるか、神のみぞ知るやうでしょうか。出来れば、平均寿命位まで、レースを楽しめたら、最良と思われそうです。

高校の同級生のY氏の差し入れの一口せんべいを、各船のテーブルに配ってレース後の一時を楽しめた。又Y氏の手作りの

野菜

無農薬の大根としいもを、ひたちなか市のT氏が、大洗のE氏が、さと芋を分けて、持ち帰った。

ヒロードの表紙の表彰状は、仏壇の前に備えておいたが、12/7の父の33回忌に、妹が来北するので、その時に本文のコピーを手渡そうと思っている。

又ヒロダの騒ぎで、忘年会も見送られ、北海道のKa氏も、岐阜のIm氏も、来れないので、コピーを郵送しようと思っている。ざっと数えて、25名余の人間が7艇に分乗して、本部艇3名と、レースを行った事になる。レース後、レースを見学に出艇したオーナーから、中古艇購入の相談を受けた。乗りやすく、作りの良い艇を選ぶ事は、車と違うので、良く選球眼を身につけないと、失敗する事が多い。

何事も基本がオーですが、1983年4~5月号のHELM誌の『近代的クルージング・ボートの進化』ゲイリー・マル著(米誌Yachting Racing/Cruising 1983年1月号)のコピーを、渡そうと思った。排水量/長さ比の基本を知っていないと、己が動かせる艇が、己が入手出来る艇と同じでない事を知らないと、話にならない。

基礎知識の大事な事は、前作の馬太文〈足かかり〉に、中学生の英語力と、製図力の必要性を記しておいたが、本気で膝を叩

いて、同意してくれる人がいるか問題だ。

何はともあれ、2020年も残り約3週間余になった。ITのCEOの龍ヶ崎市のK氏がもっと早く、日本一周をやりたいという本心を話してくれたら、2020年3月号の船誌の135°E.C.に出ていた、ユレカ31を入手出来たと思える。残念でした。オーストラリアのアメリカスカップの有名なデザイナーのB.R.の設計の同船は、結局日本には、2隻しか輸入されていなかったような。3月号に220万円が表示されて、10%に売れど、半年近い時が流れた。ユレカ31の実船を見て、いにとどめておかないと、3YMのセイルドライブを乗せた、御買得船を入手する事は出来ない。又ボート・ショーで見て、ため息をついて帰った悔しい思いが、人を成長させるエネルギーが生まれてくる基となると思える。10月号の161頁の船誌の

R2 Hボートの公告に、3YM-30のセイルドライブの中古のエンジンが110万円とありました。ユレカ31が、190万円に値引きされた後、買い手が出た様です。

12/7 ハンクリーである事と、悔しい思いをする事が、判断力を養い、耐久力を育くみ、向上心のある眼力を身に付ける基となる。

伊藤 藤 軽くて、丈夫で、長持ちする船が要求されますので、産業デザインから頂いた資金は、カーボン繊維の購入費としたいと思っております。ありがとうございます。